京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年

本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢

月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）

廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一圓五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人　高木久馬太

印刷人　松久神一郎

京城西署西小門通（電話六六三）

發行所　京城新報社

寄書

韓國經營と人口問題（八）

在仁川　山下南傑

而して其多數は農に商に工に各其業務に從事し健全なる發育をなしつゝあるは我國民の最も羨望する所にして都鄙到る所に第二の本國を形成しつゝあるは殖民者として自負に値ひするものと謂ふべしと雖も、識者恐らくは現今の狀況を以て滿足せざるべし、苟くも日本帝國が人道の爲に極東の平和を擁護しかねて本國の安寧を保障せんとするに在る以上、移民の集中を滿韓に圖りて國民的勢力の發展を庶幾すべきは余が唯一の願望なりとす、亦た玆に一言せしが如く祖國過剩の人口を世界に分布して適當なる職業に從事せしめん事は余の常に希望する所なりと雖も、彼移住國が國民的文明の度合高く亦た政治上社會上幾多の故障ある邦國なるに於ては國家として其移住を激勵し及び之を保護するが如きは決して策の得たるものに非ず、近世的殖民は殖民地に對する政治的支配權を確立する乎、亦た保護權の設定ある乎、尠なくとも本國政治上の効果の及ぶ土地に非ざれば遂に其目的を達し得べからず、余の特に滿韓に於ける集中的殖民を主唱する所以は此理由に外ならずして、若し或論者の唱道するが如く殖民を目して單に本國民即ち同一國性を有する民族の地理的移動となせば余輩も亦た何をか謂はん、米國に於ける祖國同胞の出稼も亦た殖民を以て之を論定し得べき乎余は到底斯かる所論に首肯する能はざるなり。

雜報

郵便爲替に就て（上）

（矢野業務課長の談）

△郵便爲替金拂渡濟通知に就て　郵便爲替の受取人の中には爲替金を無事に受領せるにも拘はらず其旨を差出人に通知せざるものあり然るに差出人に於ては受取人より受領の通知なきを以て或は爲替の不着にあらざるかと考へ其爲替の着否に關し郵便局所へ照會を發し若は受取人に問合はす等種々の手數と無用の心配とをなすもの少なからず斯る手數と心配とを避くるの方法として郵便爲替の差出人は爲替振出の際郵便又は電信に依る郵便爲替金拂渡濟通知を請求することを得べし此の場合に於ては其の料金として郵便爲替一口に付郵便に依るものは金三錢電信に依るものは該電報料金に相當する金額の納付を要す此の請求をなすときは爲替金の着否に關し毫も懸念する所なかる可

▲郵便爲替金居宅拂に就て　韓國内に於ては未だ爲替金居宅拂の取扱を開始するの時期に達せずと雖も日本内地に於ては何れの郵便局に於ても一般に之れが取扱をなすを以て若し日本内地宛の爲替にして病院の入院患者學校寄宿舍に於ける女學生其の他外出し難き事情ある人に宛つる場合には之を居宅拂となすに於ては受取人に於て最も便宜とする所なるべし居宅拂の料金として爲替一口につき通常爲替及電信爲替は金五錢小爲替は金三錢の納付を要す

地方通信

▲平壤通信

●暴民の善後會議　一昨一日統監府會議室に參與官會議を開き席上順川暴動善後策を議したるが國法に違反して暴動をなす不逞漢に對しては大々的檢擧を爲したる上嚴罰に處し一方地方費實施の目的を達す可と

▲安州商民の不穩　市場税の韓商民に不適にして此の事より黄海道平安南北兩道の各地市場にて近來往々不穩の沙汰あるは屢々耳にする所なるが安州市場に於ても財務署燒拂ひの暴擧に出でんとする抔甚だ不穩の樣子なるが今實地同市場に望みて是等の事を目擊せし某商人の話によれば安州市場に於ては市場税が京仁並に釜山平壤等の如き大市場に於て愈々實行せらるゝに到らば異議なく納税すべきも完全に是等大市場の納税問題が解決せざる間は安州に於ても其義務を盡し難しとの條件にて去臘十二月二十日前後より開市し居たるに財務署にては此條件を無視し以來幾度となく其署員等が警官を頼みて强制的に税金を取上げ其他財務署員にして韓語に通せざる處より種々韓商等との間に意志の衝突あり或は納税者に對して其受取證を發せざるより一種の不信を抱き又は百分の一の課税は甚だ酷に過ぎ居りて實際石油紡績金巾其他の卸賣商品の利益は賣上高の百分の一にだも達せざる薄利のものありて納税すれば却て元金に損害を來すの苦痛等あり斯くては到底營業上立行かずとの勘定となれば是等の事が韓商民等の市場税に對する不服の原因となり居りて而かも當該役員は這般の事情には全然頓着なくして只管税金の徵收にのみ壓制手段を用ゆるを以て愈々商民の感情を損ひ遂に不穩の有樣を呈するに至りしものゝ由而して平安南北兩道及び黄海道に於ける不穩の情勢もその原因は是等と事情を一にせるものなり云々

▲手形組合比較成績　當手形組合に於ける近况を聞くに去一月中の保證高は六萬六千二百圓同舊十二月中保證高九萬三千二百八十圓一月は舊十二月より減少二萬七千八十圓支拂高は本月中六萬六百圓舊十二月中九万四千八百三十七圓一月は舊十二月より減少三万四千五百三十二圓なるが現在高は舊十二月末日十七萬四千九百八十圓本月末日十八萬八百八十圓本月末は舊十二月末に比し五千九百圓の減少にして右の如く舊十二月中に比し一月中に於ける保證高の減少は新年匆々には一般に商取引閑散なれば隨て金融も緩漫なるに因し支拂高も同樣商人に於て期日を避くるに因るものなるが現在高に於ける減少の差の比較的甚しきは前月末には計算決濟の行はれたるに因る

日本銘刀傳

第卅七席　邑井一講演

虎次郎聞いて　虎「有難ふ存じます、仰せ辱けなけれども、抑々、私が父に劣るといふは、如何なる理由でございます、高言に似たれども、手前は父には劣らぬ積りで　頼「イヤ、其所だて、御身も薄々は聞いたであらうが、當時上方表から、當金澤へ參つて、藩の若侍が盡く賞美いたして居る刀劍鍛冶、文珠五郎兼次といふ者は、至つて切味能き、今貞宗といふ評判、御身が鍛つた鎧杯は到底五郎兼次の鍛へた刀には及ばん、瓜か茄子の如くに切れるといふ評判だ、彼れ兼次も自分云ふて居る爲めに手を叩いて皆一同が笑つて居る、夫を聞くに附けても拙者は竹馬の朋友であるから、餘り好い心持はせんが、何んと文珠五郎の刀を以てすとも、裏缺ぐことの無いやうな鎧を鍛つて、一般の若侍が我れ輩を笑つて居る、夫を見返すやうなる腕前を顯はしては呉れんか」虎次郎から〳〵と打笑つて　虎「篠原氏の御心添へ、誠に千萬辱けなう存じます、文珠五郎兼次は今貞宗と云はれて居る名人かは知らざれども、斯くいふ長根骨も天下の名人でございます」頼「夫が好く無いといふことよ、自分から名人と極めて仕舞つて居るから、終に鎧が裏缺くやうな物が出來て仕舞のだ　虎「イヱ、決して左樣なことはございませぬ、仰せに從つて、是より鍛ひ上げた所の鎧は、文珠五郎の如き刀を以て、裏缺くことの出來ぬやうに出來へて御覽に入れます　頼「ウム……、手前は夫を本當にいふのか、串戲にいふのか、戲れではよもあるまいな　虎「某恐ながら誰も自分の腕前に關係ることに就て、決して貴郎方に戲れは申しませぬ、誓つて申す事でございますから、貴郎方の方に於て篤と御聞き下さつては迷惑を仕る　頼「夫は何うも辱け無い、然らば斯ふしやう、其方の鎧と文珠五郎の刀と殿の御前に於て試合を願つたら如何なものだ、其試合にさへ打勝てば今までの噂さもされは旭の霜と等しく消去つて仕舞ふのであらう」虎「面白い仰せでございます、武藝の試合と云ふは今日まで數々ございますが鎧に刀の腕前を顯はす試合と申すは曾て聞いたことがございませぬ、如何にも承知いたしました、殿の御前に於て立派に負かすやうな鎧を出來へて、御覽に入れませう」と受合つた　頼「然らば出來の上は我方まで知らせ呉れよ」と篠原頼母といふ方は呉れ呉れ言置いて立歸られましてございます。サア是より長曾根虎次郎は一生懸命晝夜寢食を忘れまして、樣々の工夫をして鎧を一領仕上げんと苦しんで居りましたが或夜の事母のた美代といふ、沖高の妻が虎次郎を傍へ呼びまして　母「偖て汝は、過日篠原樣御出でに成つて兼次の刀と鎧との勝負を近々上へ願ひを上げるといふことであるが、確と兼次に勝てるだけの鎧を拵るや如何……、若し出來の上文珠五郎の刀に退けを取るやうな事あつては、汝が父、新兵衛沖高殿には、不孝此上も無く、又た今日斯の如く安穩に送り居る主君へ對して恥辱を與へ奉るやうなものである、何れにしても父新兵衛沖高殿が泉下に泣き玉ふこと如何ばかりか、苟くも汝の心に及ばざる事ありと認る位ならば早く今の内頼母殿にお詫び申して中止せよ、何れにても確とした返答いたせ」と流石は女丈夫、キッパリと問ひをした時に虎次郎沖里莞爾と笑つて、虎「陽氣の發する所は金鐵も徹する、精神一到何事か成らざらん、母人必ず其御心配なら御無用でござる、今般私が仕立に掛りました鎧の儀に於ては、文珠五郎の刀を以て裏欠ざるは勿論、先方の刀に齒溢れの出來るやう受け合ひまする、沖里が一心鎧の内に籠り居りますれば何とて文珠の如き鈍刀に劣りませうや」母「オヽ能くもいひなすつた其一言を聞いて母も安堵いたした、燒野の雉子夜の鶴、良きが上にも好くしたいと思へばこそ、斯樣な事をいふのである、惡く思ふて下さるな」虎「勿体ない其仰せ、然し油斷大敵と申せば此上にも念を入れて美事なる物を出來るでありませう」と、其場を退いて又トンカチン、チン〳〵カチンと鎧の繩に餘念も無い母は其音を聞いて、母「一心籠めたる槌の音と見れ、平生の響きとは違ふやうではあるけれども、何と無う心掛りの事である、せめては神佛の加護なりとも受けて美事に勝負に勝てるやういたさう」と、是からといふものは母は毎夜〳〵七日七夜といふものは京都の稻荷山、五社大明神、加賀の白山大權現を祈り、何卒かして悴の鍛ひたる鎧、今貞宗と云はれる文珠五郎兼次の鍛たる刀と戰ひ、勝を占めまするやうに神護を垂れ玉へ、と短夜三更に八百万の神々に祈り、一方ならぬ苦心をいたしてございます。



東京電報

●日光御獵場の鹿狩 來る十五日日光御獵場に於て鹿狩仰出され東郷、黒木、奥の各軍參議官陪從仰付けらるべし(四日)

●進歩又新の交渉 進歩黨常務委員は院内に於て又新會よりの交渉案に對し協議會を開き地租輕減財源に就ては必らずしも又新會より提唱したる剰餘金のみに止めず四十三年度豫算に削減を加ふる事とし一歩を讓り右協議を又新會に交渉する事に決せり(同上)

●内債借換と銀行 内債一億圓の借換に就き政府は切めて一年に約八千萬圓を獲得する計畫なりしが借換に關する銀行家の手數料は一歩を以てボーナス一歩半合計二歩半とし剰餘金は二百五十萬圓の差額に達すべく殊に政府は郵便貯金利下げの結果銀行家に預金を吸收せしめたる状況にて結局内債借換は國庫より[illegible]其利子を[illegible]するに至るべし(同上)

●紀元節の御祝宴 來る十一日は紀元節に就き宮中豊明殿に於て宴會を催させらるゝ筈にて式部職より各皇族大勲位親任官各華族各國大公使千四百餘名に對し夫れ／＼御召状を發せられたり(同上)

●對韓方針の言明 昨日桂首相は「對韓政策は今突然之を變更せず而も一層嚴重の取締を爲すべく行政組織の刷新は急を要せず漸次に行はしむる方針なり」と(同上)

●在韓邦人教育法案 在韓本邦人教育に關する法案は目下當局者の手に於て草案中なるが近日樞密院に提出さるべし(同上)

●鎭海灣軍港防備 鎭海灣軍港防備は[illegible]十年計畫にて[illegible]軍港防備を完整せしむる[illegible](同上)

●大砲發射の新設 韓國[illegible]に新設すべき大砲發射[illegible]二ヶ年繼續工事にて[illegible](同上)

●故西澤知事昇叙 故西澤[illegible]知事は特旨を以て從四位に陞叙せらる(同上)

雜報

●國税未勘の整理 國税未勘金整理の現状につき度支部當局者の語る所に依れば
▲國税未勘金の由來 未勘金は人民の未納にあらずして徴税官吏の國庫への未納にして舊時代に於ては府尹等が徴税のことを掌りし時代に於て國税徴收のことは一家の職責の如く解せられ郡守等が其收税せし租税を一時私に流用することは普通の事なりとは思考せざりき而して當時の法制に於ては之を嚴禁し居りしも名に止まり從て公金流用の弊は一般に波及し政府の財政に著しき缺陥を生ずるに至れり隨て未勘金整理を要することゝなりたるも前述の如く公金流用の弊益々增大し政府の財政に打撃を與ふること少からず當時の財務當局者も屢々整理を試みたりしも因襲の久しき容易に遂行を觀ることと能はず一般行政の改革ある迄は未勘金整理の事業は言ふべからざるものと爲し[illegible]特典を與へたりしも將來に於ても同樣なる[illegible]んどの豫測を爲さし[illegible]するに至れり而して[illegible]機關の改革を行ふと[illegible]年以降に於ける未勘[illegible]始せしが何れも隠匿[illegible]こと容易ならず漸く[illegible]等の作成せし成冊及[illegible]簿等の公簿に徴し調[illegible]通者の數約三千人未[illegible]錄圓に上れり是に於[illegible]收して歸入の一部に[illegible]し其の大体の調査を[illegible]んで之れが整理を圖[illegible]に於て未勘金整理に[illegible]
▲整理の現況 [illegible]現況を見るに昨今[illegible]收成績は

歳入豫算額	二〇〇、〇〇〇圓
收入額	一四五、三八三
物件收入	五六、七五七
計	二〇二、一四〇

▲整理の方針 該事務は固と收入を目[illegible]及個人の關係を明瞭[illegible]し從來の如く國庫及[illegible]中に永く繼續するに[illegible]損失なるのみならず[illegible]勤儉貯蓄の美風を害[illegible]從て整理の方法とし[illegible]歸す可き明なる金額[illegible]するの方針を採り居[illegible]しき不平の聲を聞か[illegible]產を有し將に處辨し[illegible]の進捗を見つゝ在[illegible]

●順川暴動の公報 其筋に達したる順川暴動公報左の如し
一月廿九日午後三時頃順川財務署主事野澤辰三郎他と共に市場税徴收の爲め[illegible]市場に至り徴收せんとしたるに人民之れに應せず直に市を撤し財務署前庭に集合し財務官吏に面會し市場税免除を強請せり郡守財務官は熱心に諭示せる處ありしに應せず剰へ財務主事に對し前に徴收せし税金の返還を要請し尚今後免除の證書を與ふべしと迫れり財務主事は其言を斥けしに商民一齊に投石を始め頗る不穩の狀況に陷れり市民等は勢に乘じて財務官吏並に郡衙官吏を鏖殺すべしと揚言し火を放ちて郡衙を焼けり各官衙又類燒したり右の騒擾に依り殺害されたるもの左の如し
財務主事野澤辰三郎、韓人主事南宮燦、郵便取扱所長大野憲太郎、農事試作場主任森元作、商人矢島政吉、同木村庄太郎、同阪東昌一、同杉本某
負傷者左の如し
財務署長韓錫鐘、郡主事金鏞七、敎師齋島榮、巡査許善
右の外敎師山田三郎氏は行衞不明也

●又々暴民の妄動 去月廿九日順川郡に於て市場税反對の結果大慘事を演出したるが又々去る二日夜平安北道龍川郡揚市(龍岩浦を去る三里)に於て韓人多數市場税反對の爲め紛擾を惹起し市場を開かず財務署員に向つて暴行を加へんとし頗る不穩の狀況なれば龍巖浦分署は情報に接し同地憲兵と協力し徴税せんとせしも順川の暴擧を聞傳へしが從渡は兎も角納付したるに拘らず今回は頑として應せざるにぞ主謀者と見るべきもの七名を龍巖浦分署に引致したり然るに翌三日午後三時頃同地韓人約六百名は龍巖浦分署に押寄せんとし形勢頗る迫りたれば之を村端に集め請願代表者四名を出さしめ余は說諭解散させんとしたれども總代の返答を聞く迄は動かずとて說諭に服せず日沒より尚二百餘名同地の韓人町に入込み如何なる珍事出來するやも計られず急を報じて新義州より應援兵の出動を促し憲兵及び警察分署員は之れと協力要地を警戒したる爲め其後何等の事變もなく經過せる由なり

●農銀の分離準備 韓國現在の農工銀行は双性兒的の特種銀行にして永久に此制度を存續する能はざるは何人も之を認むるに難からず則ち不動產銀行と普通商業銀行とを兼營する次第なれば之を銀行自身の立脚地より言ふも頗る危險不安の狀態に在りと謂つべし故に之が制度を改正し兩者分離の必要は客年開催の財務監督局長會議にも有力なる諮問事項として提出せられたるが韓國現在の經濟事情は一般的に之を施行するの何は甚だ困難なりと認められ兎に角京城、大邱、平壤の樞要地に着手し然る上徐々各地に及ぼすも遲からずとて當地漢湖農工銀行にては其準備として目下二樣の帳簿を設置し何時にても分離に差支なき樣仕組み居れりと云ふ

●日韓瓦斯の決算 日韓瓦斯電氣株式會社第三期決算は一月末日なるが其結果左の如し

總收入	十八萬五百十一圓九十二錢四厘
總支出	十四万四十六圓九十七錢七厘
差引利益金	四萬八百六十四圓九十四錢七厘
前期繰越金	一萬一千四百二圓八十一錢六厘
合計	五万二千二百六十七圓七十六錢三厘

●農工銀行營業成績

資本金	四十万圓
農工債券	二十五萬圓
政府貸下金	三十二萬圓
積立金	二千八百圓
配當	(年一割二分)
下半期純益金	一万八千六百九十五圓六十九錢一厘
後季繰越金	九千百六十二圓六十九錢一厘

支配人 久能省三

今株式會社漢湖農工銀行昨年度下半期に於ける營業成績を聞くに七、八の兩月は上半期の金融緩漫なる惰力のために顯著なる資金の需要を見る事なくして越月したるが九月に入りて農作物收獲期の近きたるに因りて商業沈滯の影響を受くる事なく農工資金としての貸出し一時に增加し又一方には韓銀株募集のためこれ亦多少の貸出しを見るに至れると同時に商業沈衰の趨勢として預金の增加を來したり而して十月は一昂一低差したる變動を見ずして越月したるが十一月に入りては大豆の昂騰に因り市場漸く色めき之れが買占め資金として著しき需要を見るに至りたると共に農工資金としても亦相應の貸出あり又歲末に至りては米及び大豆等一層市場を賑はしめ、ために歲末の金融は最も顯著なりしを以て同行昨年下半期は開店以來未曾有の好成績を收むるに至りたるなり之れ畢竟同行が商況沈衰の裡に立ちてかくの如き好果を見るに至りたる所以は農工資金として大なる需要を來したるに基因するものなりと此利益金處分に就ては重役會議に付せざれば何は未定なるが岡崎專務の意向は三萬圓即ち年四步の配當を爲さん積りなりと

●專賣制度の調査 韓政府にては韓國財政の疲弊を救濟せん爲め財源調査局に命じて專賣制度を施行すべく其品種に就き調査中なるが目下鹽、煙草の二種に對しては餘程調査の步を進め居れば若し此制度實施せらるゝとせば差向き該二品なるべしと云ふ

●韓國市場現在總數 順川亂民の一揆に依り世上の注意を惹起したる韓國現在の市場總數を聞くに京畿道七九、忠淸北道五一、忠淸南道七四、全羅北道六八、全羅南道八一、慶尙北道一〇八、慶尙南道三九、黃海道八九、江原道五四、平安南道六五、平安北道三六、咸鏡北道四二、咸鏡南道九、合計八四九而して韓國の商習慣は總べて此市場に依りて取引行はれ普通取引は絕無と言ふも可なり今其取引高を聞くに一個月の金額左の如し

農產物	七十四萬二千二百四十五圓
水產物	三十五萬三千百三十六圓
織物類	六十五萬一千七百五十四圓
雜品	六十二萬七千七百五十七圓
畜類	四十八萬六千四百四十四圓
計	二百八十六萬一千三百廿六圓

則ち右は最近の調査に成れる報告を綜合せるものなるが彼の市場税は此總高に對し課せらるゝものなり而して地方に依り各々率を異にせるも概して百分の一なりと云ふ

●外國輸入鹽の總額 從來韓國に輸入されし食鹽は淸國を初め頗る巨額の高に上りしが天日官鹽產出以來漸く其額を減少するに至れり則ち昨年の輸入全部は五七六三三四五斤鑑定價格三〇四八四四九圓なりしが一昨年の同額七四五九六四五七斤同價四〇七九六二圓に比して一六九六四〇〇四斤の減少を見たるが其内譯は一昨年日本輸入四六五三三八〇四斤臺灣一五二三三二五〇〇淸國五四七〇五八五三斤獨逸四三〇〇斤なりしが昨年は日本一一一五七一九斤臺灣六七三七五〇〇斤淸國九一〇九二六〇斤獨逸四三〇〇斤の各額少にして他露國より二二〇〇米國五七五斤の各初輸(頃)入を見たるのみ

●トロール船の增加 韓國を根據地として韓海に出漁しつゝあるトロール船は更に又一隻を增加したる由なるが同トロール漁船太漁丸(百六十八噸)は大阪西區林竹三郎氏の所有船にて從來紀州和歌浦附近に於て漁業に從事し居りしも今回其筋よりトロール船漁業區域の制限を受けし結果同地海面の業漁區域頗る狹隘となり充分の漁獲なきより今回下關港に根據として韓海に出漁する事に變更したるなり

●鶴岡書記官送別會 農商工部書記官鶴岡永太郎氏は近日官途を辭し歐行の途に上る由に就き各部高等官以下及統監府側並に氏の知友等は來る七日午後五時半より花月樓に於て大送別會を開くべき目下準備中なり會費は五圓希望者は京城日報原田氏又は農商工部菊地氏宛申込まるべしと

●天日製鹽賣渡價格 臨時財源調査局は告示第一號を以て朱安天日製鹽賣渡價格を左の通り定む

一等撒鹽	百斤	六十五錢
二等同	同	五十五錢

尚ほ一時に十萬斤以上買渡を請求する時は各百斤に付き五錢の減價を受くべし

●鐵道期成短縮運動 來る十日頃大韓日報社長戶叶薰雄氏は政府が十 年の繼續事業とせる鐵道期成を五箇年に短縮すべき要務を帶びて東上右に關する運動を開始すべしと

●日韓瓦斯會社總會 日韓瓦斯電氣株式會社決算結果は別項の如くなるが該總會は來る廿五日東京靑年會館に於て開催さるべく岡崎同社專務取締役は其用務を帶び四日東上す

●龍山經濟協會總會 龍山經濟協會は過般發起人會を終りたるが愈來る十三日其創立總會を元町二丁目小學校分校場に於て開會役員撰擧を行ひ引續き會務執行に關し協議すと

●林田民團助役辭任 當民團林田助役は三日辭表を提出したるが辭任認可の上は多分内部へ奉職する事となるべく助役後任として龍山の大村百賢氏目下運動中なりと云ふ

●安重根の豫審終結 旅順に於ける安重根外二名の豫審は七日を以て終結し公判は多分本月十日頃より開廷さるべしと其の筋へ情報あり

●朴泳孝氏馬山到着 朴泳孝氏は釜山を經て三日午後十時馬山に到着せり停車場には韓人官民多數出迎あり同氏は舊馬山に假寓靜養する由

●同盟會委員の東上 橫貫鐵道龍山期成同盟會委員大久保到氏は今五日東上し京仁の同志と同一步調を取り期成運動を試むる由なり

●瓦斯電氣供給現在 日韓瓦斯電氣株式會社の決算期末日瓦斯電氣供給現在は瓦斯四萬五千六百立方呎電氣八千四百十七燈なりと云ふ

韓銀督見錄(九)

スイロオ生

▲記者は前回に於て韓銀が日本銀行に向つて低利資金の貸下げを申込みたることを記載したり、常に他を誣ゆるに虚報を傳ふるものなりとす韓銀重役が亦もや前記の記事を虚報なりと打消すならんとは記者の待設けたるところなりき、幸か不幸か事實は事實として存す、韓銀重役如何に盲勇なりとも事實は否認し得るものにあらず

▲韓銀を經營するに韓國本位を以てせんとは市原、木村兩氏の了簡なり、已に韓國本位を信條と爲すに至る勢ひ韓化せざらんと欲するも能はず、さればこそ今回彼等が日本銀行に低利借入金を申込むに就ても我等日本人には想像し能はざる條件を案出したり、日本銀行が之を納るゝや否やは已に疑問なり、彼等が赤恥を搔かされて引下がらずんば幸甚なり。

▲市原總裁は曩日韓銀の開業式に於て大演說を試みたり、其演說の要旨を摘記すれば左の如し
今回設立せられたる韓國銀行は中央銀行の業務と普通銀行の業務とを兼營すべき特種の銀行にして任を總裁として受けたる余の營業方針は中央銀行として各商業銀行の親銀行となりて金融の便を計り、商業銀行としては他の銀行と競爭の態度を採らず勉めて圓滿に業務を進行せしむべしと

▲市原氏の演說は立派なりき、記者は言に及ばず當日來會せし千有余名の紳士は一樣に感服したりき、此事有つて以來僅かに三ケ月市原氏は自ら某響言を蹂躙するに到れり、而して其蹂躙したる事實とは何ぞ。

▲有ろう事か有まい事か堂々たる國家の財政機關たる韓銀は過日總裁市原氏の名を以て預金勸誘の親展狀を京城は勿論仁川、龍山、平壤、鎭南浦、元山等あらゆる都市の商業家へ發送したり、若しも斯る手段にして普通商業銀行に因つて採られたりとせんか記者は決して咎めざるのみならず寧ろ其勉强を賞賛すべし、而れども韓銀は中央銀行なり、此中央銀行にして親展狀を發して預金勸誘をなすとは自己本然の立場を忘れて他の商業銀行に對し競爭の態度を採るものなり、開業式に於て大演說を爲したる市原氏は記者の非難を何と思はるゝや。

▲韓銀が其金庫の空乏なるは一銀時代の預金の止まらざりし爲なり、重役等が資金の必要に迫られ其小さき頭腦を絞りて預金吸收の策を講せんとするは一應尤もなり、而れども苟くも中央銀行たるものが他の銀行と競爭して預金の吸收を爲さんとするは金融界に取つて有害なり、市原、木村兩氏の最も恐るゝ度支部官憲は君等の預金吸收策を是認したりや否。

●港灣視察報告會 港灣視察の爲め出張中の岩崎民長及び青木商業會議所副會頭歸仁せし由は既報の如くなるが近日中民會議員及び商業會議所議員を召集して右調査報告會を開く筈なりと

●京城民長の招宴 京城民長古城菅堂氏は昨四日午後六時より官民有志を花月樓に招きて盛宴を張りたりと云ふ

●釜山の東上委員 釜山第一銀行支店長野口弘毅氏は米輸入税引上反對運動の爲め去る二日出發東上したりと

●服部暢氏の出發 滯京中なりし大朝記者の同氏は來る六日午前九時十分南大門發安奉線に依り奉天に向ふ筈なり

ソウルプレスの韓人觀に就て

スイロオ生

右は飜稿すべき筈の處記者の實驗談を記述するに於ては勢ひ多數關係韓人の氏名を擧げざるべからず、然かも之等關係者と記者との交涉を說けば第三者は目して手前味噌と云はん因つて作遺憾本文は讀稿を止め山縣君には他日面晤の折に口述すべし。

●松野判事の入京 蔚珍區裁判所判事松野孫次郎氏三日入京旭旅館に投宿

●四方田榮太郎氏 京城控訴院書記長の同氏は三日釜山より歸京したりと

●佐々木局長赴任 新任平壤財務監督局長佐々木正太氏は三日平壤に赴く

●富喜一郎氏歸任 江陵區裁判所判事の同氏は入京中の處三日歸任したり

●島田警視の歸任 平安北道警察部長島田文之助氏は昨四日出發歸任せり

●久水理事官入京 元山理事官久水三郎氏は三日夜入京天眞樓に投宿せり

▲治外法權▼

本月發行の太陽に朝鮮合邦論と云ふのがある、如何なる人の名論かと忙中閑を偸んで拜見すれば初めが鶴原君ので次が尾崎君のである▲鶴原君の御託に因れば合邦は仁慈にして偉大なる政策だ、韓人の合邦提議は至當のものだ、先見の明があるのは一進會だ、韓人を一等國民にならしむべしだ、李容九の心事大に察して遣るべしだ▲鶴原君と云へば元の總務長官である、此人にして合邦と合併とが判らず、韓人の雜音を其儘受賣するとはハテナ困まつたものだ▲タシカ鶴原君は曾て一進會を迫害した人だ、統監府を逃出して人造肥料屋の番頭になつた人だ、敗軍の卒徒らに兵を談ずる實に笑止の極みだ▲愕堂尾崎君の御託も大体に於ては鶴原君のと同じである唯茲に特記すべきは一進會の合邦に反對した日本諸新聞の態度を彼が不親切だと攻擊した事である、▲鶴原と云ひ尾崎と云ひソンナニ馬鹿でなかつた筈である、而るに今に於て合邦の愚說を喋々するとはドーも合點が行かぬ、機會があつたら彼等のタガを締直てやりたいものだ▲駐韓師團の增設はヂンゴーならぬ記者が考へても目下の急務だ極東平和の保障は其使命我軍隊にありだ▲會計檢查院長田尻博士の家では下女下男に至るまで副食物が銘々異なる相だ、博士曰く嗜好は人々で違ふ、嗜好の統一は無理だ、仍て我輩は皆に代金で渡して金で統一する、成程之は一寸面白い遣り方だ。



通行商人の遭難

▲廿名を縛して金品を强奪

一月廿日午前十時火繩銃一、梃棒囲を携へたる賊五名慶北清河郡芝田洞に顯はれ新院清河邑の市日の當日とて該市に商ひにとて行く途中の商人貳拾名を縛し韓錢二十五貫文、一類紙節二十六圓(反物七十二反)約百圓其他を强奪せるが被害品は總計約貳百圓に達すと、賊は何れも木綿を以て面部を包み居たり同日午後六時賊は清洞郡竹北面上玉同方面へ逃亡せり同地憲兵分遣所にては此急報に接し直ちに討伐隊を出して賊の出没すと傳へられたる山間及び部落を隈なく搜索せしも逐ひに得る所なかりしと云ふ

星州郡の火賊

▲無言にて脅迫す

一月廿二日夜星州郡新谷面基同白奇先方に數名の賊侵入し荒繩を以て主人を縛し且つ毆打したるが此奴妙な賊にて紋切形の脅迫の文句を並べず無言にて有合せたる金品を奪ひ逃亡せるが無言の脅迫は宛然たる無言の喜劇なり賊は普通韓裝にてうち一名は黄色の巾を纏ひ居たりと

●指を切つて請願す

▲殊勝なる韓人の所行

目下西部盤橋坊京口契七十五統四戸權事變方に居住せる平安北道義州府西門外朱奎一(二五)と稱するは一意日本へ留學し學藝を研究せん事を欲し居たるも家貧ふして學資を得る事能はざるより八方に奔走し寄附金を募り漸やく百圓に達したるも現金の手に入りたるは四十餘圓にて殘額六十圓は日本に赴く際手渡しやらんとて未だに之を受取らず僅々四十餘圓を有するのみにては到底留學覺束なきより昨日事情を具陳したる請願書に左指第三指の一節を切斷したるものを添へ學部大臣に宛て官費留生たらん事を願出でたるが斷指は生木のまゝ綿にくるみ更に『誓言誰死斷指、誓之誓中藥學誓朱允錫子小童奎一、二十五年、二月三日上午一時左手第三指一節』と血書したる朝鮮紙に包みありたり學部にては官費留學生に關し一定の準據すべき法則あり濫りに之等の請願を容るべきにあらねば來る三四月頃留學生資格試驗を受くべき旨懇致する所あり件の請願書、血書、斷指は悉く却下したりと

●席順が因の競爭

▲井門支店の女郎花

楼内常に席順競爭を以て有名なる新町井門支店は又もや一月席順にて番狂はせの出でたりとかにて飛んだ誤商賣の競爭こそ初まれり先づ先月の席順をいへば筆頭を月枝女郎に讓て濱次、百合子、絹枝、傘子、太郎、富美枝、龍子壽枝、駒尾等の顔よれにて月枝女郎は御存じの容顔其の一番席は怪むに足らねども濱次拍子がまた新顔の馴染み淺きにも拘はらず龍子、筆子等の古狸を扱いての二番館とは天晴れ至極されば之を太郎、駒尾、龍子古參の面々は何れも新妓に先を越せられて無念遣り方なく今に見よやの意氣込するぞくれ客欲しやの血眼中なりとの事なれば茲等が客の覗ひ處金も捨てよちや花が咲くとか思し召しの方は先づ當つた上の手折り次第と賴まれもせぬ傳り一筆したが第三番の百合子女郎は先月限り足を洗つて素人となりしとか落膽の方もあらんが廓親切迄に是も一筆あらく〳〵かしく

●阿片を飲んで自殺

▲韓妓の無情を憤つて

仁川宮町二丁目味噌製造業藤本藤一郎方雇韓人なる全羅道生れの金福順(二四)と云ふは一昨日午後二時頃前記藤本方の醤油製造場内に於て阿片を飲用し自殺を遂げたるが其原因を聞くに同人は久しき以前より花町なる某韓妓と深き情交を保ち末は夫婦よと確き約束を爲し落籍の相談まで爲したる程の間柄なりしが此方の韓妓は金福順の思ふほどの心變しなく時偶ま情なく當り散らせしかば其無情を憤りて果敢なき最後を遂げたるなりと

●窃盜放火犯人

▲露顯の因は落した質札

原籍大分縣大分郡別府町平民當時明治町三丁目八十八番戸丸市旅館雇人平原福市(三七)と云ふは去る一月十日午後二時頃同旅館二階止宿の新井某なる者の不在に乘じ密かに二階に登り往き新井所有の行李より在中の衣類を窃取し其の犯罪を隱蔽せん爲め燐寸を以て衣類に放火せしが家人に認められ其の意を果さず且又同家使用人なる有田興吉なる者の衣類をも窃取なし居る事一昨日前記興吉が座敷掃除の際拾ひ上げたる六枚の質札より露顯し窃盜放火犯として一昨日逮捕せらる

●小學兒童凍傷

龍山小學校兒童中此の程の寒氣の爲め凍傷に罹れる者頗ふる多く其數を調べたるに尋常一年生に四十二名同二年に三十四名同三年に三十一名同四年に二十四名同五年に二十九名同六年に三十名高等一年に七名合計百九十七名の多數に上り其中には家庭に於ても何等手當を施さざるもの多き模樣なるより學校にては校醫をして手當を加へしめ居れりと

●客と車夫の交替

仁川營臺局員なる安定基(二五)と云ふは昨日午前一時頃敷島遊廓より北與三郞と云へる者の人力車に乘りて京町二丁目に至りたるが酩酊の餘り件の車夫を車に乘せ誤苦勞にも自分が之れを曳きて興がる内不慣の事とて車臺に破損を來せしかば車夫公目に角を立てゝ怒り出し損害要償を提起して揉んだの議談中巡査出張損害金二圓を支辨して事濟みたりとは飛んだ誤愛嬌

東西湯屋廻り(四)

▲宮殿の如き土耳古の浴場

土耳古の浴場は前に述べた瑞典のそれとは全く趣きを異にして娛樂的社交的の意味があるが隨つて其建物は甚だ宏大華麗なもので、歐州を旅行した者は誰一人として建物乃至設備に驚かぬ者はない、殊に其の公立浴場の如きは實に莊麗を極めて宛然宮殿の如き高閣である、構造はといふと其の浴室の外部は大きな石を疊み内部は一面に研いた大理石を敷きつめてあり天井も彫刻した大理石で張つてある一浴場は凡そ十室位に分割せられて各室の中央に噴水器あり、其の周圍には大理石のベンチがガラリと並べられ壁には美しい額が掛け列ねてある、又敷物も賊に贅を盡したものばかりで實に間然する所がない、浴客は着物を脫いで浴衣を着替へ履物を穿いて湯殿に行く樣になつて居る、此の湯殿の天井は八角形になつて居て其所から光線が射し込むから非常に明るくて氣持が好い、此所は常に華氏の百度位の温度にしてあるから浴客が入つて來て其所の大理石の臺の上に寢ころんで居ると蒸氣のために心地よく蒸されて來る。

●仁川券番の席順

一月中の仁川藝妓券番の席順は次の如し

勇子、一昇、三桝、米蝶、金太、富美子、舞桃太郎、君枝、丸八、久子、光子、駒龍、小富士、ぎ富久之助、加代、榮太郎、福太郎、ぎ香取、千代田、五郎、ぎ梅奴、笑子、梅八、雛小富美、朝日、香妻、小鶴、榮吉、八千代、ればこ、八重山、琴代、勝利、桝菊、小久、千多、雛千代子、たもちや、桝子、福助、三吉、一勇月前は休業、休業濟子、桝龍、友江吉彌、濟次、鈴子、咲太郎

●山海樓の藝妓

兩三日前南山町三丁目の宏大もない家屋にて開業なしたる山海樓にて一昨日抱ゐ込みたる新妓四人其の顔振れと云ふは岐阜產の當年二十七歳本姓久世たま事藝名玉次大阪生二十二歳の志築文子事藝名丸子京都生本名藤田すゞ事山次の二十五歳同京都生れは池垣ハル事藝名一八の二十三歳何れも內地より新輸入の玉揃ひなりとの事

●割木で頭を割る

仁川寺町一丁目田中虎之助方店員竹田五郎と云ふは一昨日花町四丁目西川竹三郎方に借家の件に就き至り同人妻に對し主人は居らぬかと橫柄に問ひたるが癪に障りたりとて亂暴にも右竹三郎は五郎を割木にて毆打せしかば其筋に告訴す

●立派の評議員

京城孤兒院の評議員張憲植、菱田義民等二十三名は二日午後八時より惠泉館に於て大懇親會を開き妓生五名を揚げて十二時過まで大騷ぎを爲したりとは職掌柄頗る耳障りと云ふべし

●一圓を拾得す

龍山老松町中山雜貨店々員藤原登(一七)は一昨日午後二時半頃元町四丁目の下水中に金一圓遺失しありしを拾得し警察署に屆出でたり

●奇特なる韓人

漢江坊十七統六戶林宗相といふは同地に聞ゑたる素封家なるが今や臘末に際し附近の貧民にして糊口に窮せる者多數あるを憐み極貧者三十五名に對し一人金四圓宛を施與したりといふ奇篤なることかな

●泥醉漢の頓死

一昨夜午後九時頃梨太院居咸聖五(四三)といふヨボは何處で飲みしかヘベレケに醉ふて何處かの溝に落ち濡れにぞぬれて龍山京町裏通りにノタリ出で同所に打倒れて其まゝ凍死せんばかりの折りしも巡回中の警官に見つけられて危き命拾ひを爲せりとは年甲斐も無き奴かな

●毛色の變つた醉漢

仁川本町四丁目鍛冶職仁井原得三(二七)と云ふは一昨夜何處で飲みしかヘベレケに醉ひ潰れたる儘京町の派出所に至り巡査を引つ捕へて我輩は酒を好め共巡査の小言が嫌ひだから斷りに來たと散々誤托を陳べ手の附け樣なきより醉覺めを俟ち說諭の上歸宅せしめしとは餘程毛色の變つた男なり

●隣國ひの說諭

愛媛縣生れ當時太平町二丁目料理店森三十郎方仲居田中はつね(二七)と云ふは實妹なる旭町一丁目大工職井上淸太郎妻すみゑ(三〇)なる者が重病に罹り居るに付き看護に往きたければ少しく暇を與れと樓主に申出でしも聞入れざれば何卒日限切つてのいとまを許し與れる樣と說諭方を願出しかば双方立合はせて一週間のれ許し頂戴してはつねはホク〳〵

●龍山のボヤ

昨曉午前三時に近き頃半鐘の音寒夜に冴へて響き渡れるより人々は暖き夢を破られて戶外に飛出で見れば龍山濱町の河岸に當り火焰天を焦がさん計りなるにぞ煞破火事よと騷ぎ合へる中消防隊は早くも繰出して鎭火に努め四時頃消し止めしが燃へたるは家屋にあらで韓人が所有の薮にぞありける

●待合組合の美擧

去る一日永樂町一丁目待合嬉野の出火に際し待合組長春日主人橋本は各組合に報じ何れも現場に馳付けて應援なし且つ組合一統よりは多數の贈物をなし尙は組合規定により營業繼續の出來得る樣善後策を講じたりと同組合は小組合に拘はらず比較的規約確實にして斯かる場合に處し相互救援の道相立ち居れりと

●本日の本願寺

本日の土曜日は例の如く本願寺別院に於て午後七時より說敎あり

●浪花館

越之助一座の同館は此菊の美音淺昧ある團菊の語り口艶物の越之助等が呼び物となつて非常の入りを占め居る由なるが例に依て今勉の語り物は左の如し

御祝儀寶の入船(越吉)八陣八ッ目(今子)伊賀越圓覺寺(此菊)太功記十段目(此濱)宿無岩井圓七風呂(春吉)日蓮記三段目(小蝶)義士銘々傳赤垣出立(團菊)三十三所壺坂寺淨市內(越之助)三味線(今吉)大切れ牛長衞門帶屋綱掛合

●花柳だより

一月以來の當地花柳界は素破らしき好景氣にて毎夜箱切れの有樣に候▲中券で前月第一位の賣揚げなりし花月の房江はドエライ評判で晝夜殆ど空いた間もなくアノ好きな芝居にさへついぞ一度も顏を見せなかつた位ひに候併しあまり働くと身体に障るゆへ折々は保養を召さるが肝要と存候▲同樓の藝妓達は昨今歌舞伎熱に胃され此間迄歌舞伎座に開演中なりし中村福圓に就て做れの得意藝なる三つ面の所作を稽古したる由にて其役割は狐又五郎(桃太郎)正行(辰子)辨の內侍(花奴)唄がれ辰に淨瑠璃がれ福との事なるが桃太郎なら三ツ面の所作もやり得るならんとの評判に御座候▲井門の政子が美音は有名な者なるが近頃咽喉を繃帶して居るので或人は咽喉カタルかと思ひしに此程歌舞伎座の出囃しに恐ろしい大きな聲が出たので繃帶の事が急に疑問となり搜ぐつて見ると全くノドの病氣ではなくクビの御病氣なりしと病名は曰ぬ方が宜敷くと存候

吉凶鏡

本町五丁目 三一館判

二月五日月齡十二の廿五八白赤口辛丑閉△一白● 衰退の日なり事大小となく控へ目にすべし旅行金談等効なし△二黑● 親族知友間に疎隔起り他人より惡評求にあふあらん△三碧● 音信小事若くは小累を報するあらん爭論負傷の懼れあり△四綠● 新事及變更凶慶事殖林には良好△五黃● 平靜の日なり但し業務職務上に疎漏懈怠ある勿れ△六白● 遊興の日なり收利會心の事あり旅行入門事業始め婚約を結ぶに妙△七赤● 事業始め及改革變更良好總じて給達の日なり△八白● 女色酒害盜害を防ぎ旅行舟出婚約に不利なり△九紫● 靖事の日なり旅行相談依頼取引收組事尤も妙

●天氣豫報(自四日午後六時至五日午後六時)

晴れ

三日(華氏) 最高溫度 三三、一 最低溫度 一五、八

美術半襟帯締其他組類各種
京城明治町一丁目
電話一千四百〇九
ゑり徳商店

▲無料紹介欄▼

人事部

●小僧入用 年齢十五歳位の小僧入用希望者は來談ありたし 三井物產京城支店
●小僧入用 十五歳より廿歳迄の男子三四人入用但し市内に確實なる身元引受人あるもの 灶屋本店
●賄上女中 十五六歳の女子高等官舍上女中見習たし希望者は 氏名在社(八

物件部

●店員雇入 十四五歳の者希望者來談あれ日の出町下山商行(電一〇〇七)
●貸家 西大門内●●●館前六疊三疊四疊半並に炊事場付格安に貸したし 問所清水方へ
●電話讓渡又は貸付 九伺〇番直接面談に限る 本町四 贊化堂藥店
●老舖讓渡 本町一丁目目抜の場所多年賣込し雜貨店主人實家相續の爲め歸國に就き居抜の儘至急讓渡したし 旭町一の六〇 山村

廣告

●貸家 南大門外吉野町一戸建間數三間家賃十七圓外に長屋建もあり電車電車に近く出入便希望の方は電話七四番
●求貸家 水鼡町二三丁目にて貸家を求む男一人確実ならば最佳 氏名在社



代理店
京城南大門通三丁目
新井藥房本店
電話(九百四番 千六十八番)
京城本町三丁目
新井藥房分店
電話(四七八番)

診察時間改正廣告
二月一日より松村先生診察時間を左の通り改正す
自午前九時至正午
但し他は從前の通り
龍山榮町(電話六〇三番)
龍山醫院

三一館
熱心眞摯志多年斯道に於て研磨し毅然奥旨に通じ恍然の境に有得者なり驚くべき推斷は悉く的中し其の明断殆ど神に近し
易斷 相觀 京城本町五丁目
易學教授 館主 土御門派大陰陽師

●唐津石炭直輸入商
並ニ平壤無煙炭あり
京城太平町一丁目九五
南大門高等女學校裏通り
近藤商店
電話八百三十五番



京城光化門通
淺田洋服店
店主 大島壽藏
(電話四百十二番)

胃腸消化新劑
澱粉消化 ヂヤスタリン
蛋白脂消化劑 ヂグスチン
錠劑十日分(三十粒入一瓶)二十錢
散劑一オンス入(一瓶)一圓二十錢
錠劑十日分(三十瓶入一瓶)三十錢
散錠一オンス入(一瓶)二圓四十錢
右は最近内地に於て急激の需用を來したる名聲嘖々たる世界無比の理想的絶品にして所謂賣藥には無之候
各地有名なる藥店に於て販賣す

●大韓院御用藥
韓國一手賣捌元
京城光化門通
大島專藏

瑞西タバン時計會社韓國代理販賣店
米國ウオルサム時計 米國アンソニヤ時計 韓國特約販賣店
獨逸國スカンジヤ自轉車特約販賣店
時計卸商 仁川本町三丁目 喜多金光堂本店 電話七五〇番
時計卸小賣 京城本町二丁目 喜多金光堂支店 電話千七五番

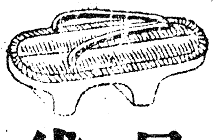
營業擴張廣告

土地家屋並に商品擔保
右は秘密確實最低利に取扱可申候期限は御申越被下度候短期は日歩にて相談に可應候下記御便利の營業所へ電話又は端書にて御申越被下候へば早速罷出可申候

質企業
京城竹園町二丁目 樋下田本店 (電話九三二番)
京城相生町 (南大門通魚市場東裏) 樋下田支店 (電話一四三九番)
龍山清水町六十三番戸 樋下田支店 (電話四〇四番)

醫學士北村一等軍醫正(呼吸器病及消化病擔任)を名譽院長とし其他院長以下各科分擔一般の診療に從事す
但し名譽院長出診は毎偶數日(丁日)午後とす
病室落成
入院隨意
貧民施療
贊化病院
本町四丁目
電話二四番

東京足袋
本店東京
京城大和町一丁目
(日の出橋際)
大和屋
藤井出張店
電話二百〇五番
正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升



外科 内科
梅毒痳病專門
戸田病院
●京城御成町南大門外一丁南
●入院隨意
●電話番號九三八番

きゝめのある温泉湯
此の温泉は左の如き病に最も妙なり
一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひぜん、梅毒、りんよこね、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せん腸胃加答兒、凍傷、がんがさ、其他内用には鐵冷温泉を用すれば尤も効能あり
京城本町一丁目郵便局前
貸席
鐵冷温泉
電話千四百十一番

石川高等法院判事閲 下校閲
今村内部警務局警視閲 下校閲
日韓印刷株式會社編輯部編纂
◎印刷鮮明 ◎類集整然 ◎校正嚴密 ◎携帶便利

統監府 裁判所 監獄署 警察署 法規提要

●全一冊●紙數凡六百頁○菊判半截形●定價金六十錢
右發賣廣告以來未だ旬日に滿たざるも意外の好評を博し日々數百部の御注文に接し感謝の至りに候就ては猶一層奮發致し大目を協約、官制、官規、官等等級及俸給法規其他諸給與、任用、裁判所、警察署、監獄署の八項に增加し本月一日の現行法規として發行の見出に易からしめ、餘白を存して隨時の追加なきは勿論索引を附して見出に易からしめ、餘白を存して隨時御記入の便を謀りたる等設備の完全を期し聊か愛顧に酬ゆるの微志に有之就ては更らに本月十日迄御申込の順序に依り配本に着手可致候間此期間に於て御購入の御方に限り前回豫報の通り特別減價を以て御需に應じ可申此際續々御用仰せ付られ度奉願上候敬具

明治四十二年十二月一日
京城
日韓印刷株式會社出版部

韓國銀行
支店出張所
仁川、平壤、元山、大邱、鎭南浦、群山、木浦、馬山、咸興、城津、鏡城、開城、安東縣
爲替取引先
東京、大阪、横濱、神戸、京都、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、東京新大阪町、大坂西區、(以上日本) 釜山、大連、公州、光州、晉州、海州、沙利院、博川、寧邊、(以上韓國) (清國)
當銀行は韓國中央金庫並に日本金庫事務の外普通銀行業務に屬する預金貸金爲替等精々確實親切に取扱申候

電話(長)三三〇	本店用	
電話一三一	當直用	
電話(長)二三二	用度係用	
電話二六一	來客用	
電話三三六		
電話一〇二	臨時建築部用	

資本金一千萬圓
積立金五百十萬圓
株式會社第一銀行京城支店
電話一一番 六一一番
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
本店 東京市日本橋區兜町
支店及出張所 大阪、京都、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、新大坂町(東京)、兵庫、伏見、西區(大阪)、釜山
其他日本韓國各地並に海外樞要の場所に爲替取引先有之候

神戸資生分院
京城梅毒病院
京城相生町(南門湯横)
◎花柳病專門並、痔(注射療法)
●入院隨意●
院長 醫學得業士 廣田靜平
(電話一二九四)

齒科治療
本町六丁目
ドクトル 中村安子
(簸そば横町)電話一五八三番

改修落成と電話開通
久しく改修中の處漸々落成仕候間不相變御贔負の程願ます
京城旭町二丁目(名古屋城横へ入る)
待合 醉月
電話二六五番

御待合 紅葉
京城南大門通三丁目光宣門側
電話一三八二番
位置の適當なるは御出入に御便利に御座候御取扱を懇切に御手輕を專一と心懸け候

蒸溜 消毒 牛乳
京城大和町一丁目
平山牧場
電話一三三

特約販賣 漬物 味噌 醬油 製造元
自製 和洋酒、罐詰、乾物、荒物、食料、雜貨、ビール、米糀、鹽辛、日本食鹽各種、特約販賣、尙御室に依り商品切手調進仕候
京城本町五丁目
大上商店
(電話二五一番)

株式會社 十八銀行 京城支店
資本金 參百萬圓
積立及繰越金 九拾萬圓
京城南大門通
(電話四二〇)
銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
本店 長崎市築町
支店出張所 京城、龍山、仁川、木浦、鎭南浦、釜山、元山、大阪、熊本、羅州、群山、佐世保、嚴原、五島、壹岐
韓國日本
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり
貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候(利息日歩壹錢四厘)
長崎貯蓄銀行代理店
(十八銀行京城支店)

★株式會社 百三十銀行 京城支店
京城本町二丁目十五番戸
電話五十八番
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿内 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野、住吉、茨木、下市
東海道 名古屋、東京、横濱、大磯、甲府、山田、桑名、松阪、宇田、熱田、四日市、津、静岡
東山道 彦根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、土崎、高崎
北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聖寺、宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取
山陰道 米子、境、松江、久手、大田
山陽道 龍野、姫路、西大寺、笠岡、高島、玉島、福山、鞆、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、徳山、小郡、長府、綱干
南海道 牛窓、味野、岩見、岡山、串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、州本、撫養、徳島、普通寺、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱
西海道 直方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長州
北海道 函館、小樽、札幌
台灣 臺北、臺南
清韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、羣山、大邱、群山、安東縣、晉州、尙州、馬山
銀行一般の業務精々便利取扱可申候



日本郵船株式會社
電話 十番
濟船出帆廣告 仁川
仁川海岸通
電話三九番
貨物及船客取扱店
郡回漕店
●釜山、長崎、門司、神戸行
山東丸 二月十一日後三時出
●大連行
相模丸 二月十五日正午時出
●大連、芝罘、秦皇島行
山東丸 一月三十日午前六時出
●大連行
酒田丸 二月 三日正午時出
●釜山出帆 元山、清津、浦鹽行
立神丸 一月廿六日午後時出
御注意 御乘船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎ハ本船出帆ノ五十分前ニ解纜ノ事